

# 中国における特許権侵害の攻防、 証拠収集の実務

～日系企業が中国特許について備えておくべき事は何か～

講師 <sup>しまだとしふみ</sup> 島田敏史 氏 弁護士法人キャストグローバル パートナー弁護士  
上海致昇商務諮詢管理有限公司 董事長

日時 2025年2月6日（木）午後1時30分～午後4時30分

- このセミナーは会場受講または Zoom 受講のいずれかを選択いただけます。（1週間動画配信あり）
- 当日のご参加が難しいお客様には、後日動画を配信できます（2週間）。日程指定も可能です。

本セミナーでは、調査会社において多数のイ号製品や関連証拠収集の実績を、弁護士として多数の中国特許権侵害訴訟、審判、行政摘発に関与した実績を有する講師により、単なる法律論だけでなく、現場の実務に基づく具体的な対応方策案を紹介します。中国と日本とは訴訟実務やベースとなる経験則、文化等に大きな違いがあり、最善の結果を得るためには中国の実態にあわせた戦略が必要不可欠です。

本セミナーでは、中国特許に関して攻撃側・防御側で最善の結果を得る必要十分な備えができることを目的とします。

## 1.概要

- (1)近時の紛争実態 (2)特許権侵害訴訟の日中比較 (3)絶対に負けれない戦いに勝つための3つの条件 (4)勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし (5)ディフェンスのポイント

## 2.攻撃側の留意点

### <調査、証拠収集>

- (1)どうやって証拠を集めるのか？(2)証拠保全は使えるのか？ (3)BtoC、BtoB、機械系、化学系等による違い、留意点 (4)鑑定の必要は？

### <民事訴訟>

- (1)特許権侵害訴訟の流れ (2)裁判所の判断が不安定と言われる中国で特許権侵害訴訟は勝てるのか？ (3)損害を立証するための証拠の収集手段は？ (4)どの程度損害賠償が認められるのか？

### <行政摘発>

- (1)特許権による行政摘発とは？ (2)行政摘発段の活用とポイント

## 3.防御側の留意点

- (1)想定される攻撃の具体予測 (2)防御の方向性 (3)抗弁の立証 (4)法律外での回避策

## 4.中国代理人との付き合い方

- (1)中国人と日本人の考え方の違い (2)調査会社と弁護士事務所の使い分け (3)虚偽や誤りの見抜き方

## 5.ケース・スタディ

- (1)BtoBの商材で一般市場には出回っていないイ号の収集、証拠化の事例 (2)訴訟を活用して侵害行為を停止させ賠償金を取得する事例 (3)行政摘発を活用して侵害行為を停止させ賠償金を取得する事例 (4)懸念される他社特許に対する防御戦略・対応例

本セミナーにつきましては、講師と同業者、法律事務所所属の方のお申し込みはご遠慮願います。

【講師紹介】「知財」中国を専門とする日本国弁護士・弁理士。2011年に渡中後、知財案件に関して2,000件以上の案件に関与。中国調査会社の経営者を務め、自前の調査員による調査・証拠収集・公証手続から摘発、審判・訴訟といった法的対応までワンストップで対応。クリアランス等の中国知財予防法務についても実績多数。その他、ASEANでの知財案件実績も多数。 ※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

主催 金融財務研究会  
<https://www.kinyu.co.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/keichoken>  
Twitter : <https://twitter.com/keichoken05>  
Blog : <https://www.kinyu.co.jp/blog/>



開催日

2025年2月6日(木)

13:30~16:30

会場

茅場町・グリーンヒルビル  
金融財務研究会本社 セミナールーム

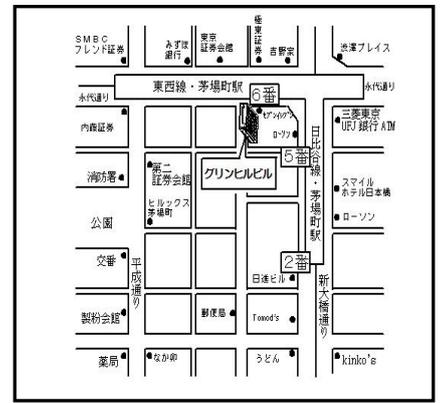
東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8

TEL 03-5651-2030

地下鉄東西線・日比谷線 茅場町駅

6番出口より徒歩1分(開場は開演の30分前です。)

【Zoom 受講の場合】インターネットに繋がるパソコンがあれば、どこでも受講できます。当日のご参加が難しいお客様には、録画した動画を後日配信することが可能です。



参加費

1名につき35,800円(消費税、参考資料を含む)

1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名につき30,000円。追加申込みの場合はその旨ご記入下さい。

申込先

金融財務研究会 ホームページ <https://www.kinyu.co.jp/>

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリーンヒルビル

TEL 03-5651-2030 FAX 03-5695-8005

申込方法

上記ホームページの申込欄からお申し込み下さい。参加申込書を FAX 又は郵送いただいたお申し込みも承ります。折り返し受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)クレジットカードご利用の場合は、質問欄にその旨をご連絡下さい。参加費の払戻しは致しませんので、当日ご参加になれない場合は、代理の方のご出席あるいは当社および経営調査研究会主催の他のセミナーへのお振替をお願いします。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内にお願いたします。)

ご記入いただきました個人情報(株)金融財務研究会の開催のために使用させていただきますが、漏洩などがないよう最善の予防、是正に努めます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

### 普通預金 口座名 (株)金融財務研究会

三菱 UFJ 銀行 本店 1642356 三井住友銀行 本店営業部 7397637

三菱UFJ信託銀行 本店 2818151 みずほ銀行 東京営業部 1427715

三井住友信託銀行 本店営業部 2993982 りそな銀行 東京営業部 1693669

◇クレジットカードは Visa、Mastercard、American Express、JCB、Diners Club、Discover がご利用いただけます。

切らずにこのままお送り下さい

中国における特許権侵害の攻防、  
証拠収集の実務

【会場または Zoom】 2 / 6

## 参加申込書

FAX 03-5695-8005

年 月 日

下記に✓を入れてください。 <input type="checkbox"/> 会場受講 <input type="checkbox"/> Zoom受講 <input type="checkbox"/> 後日配信 弊社からのお知らせ、メルマガの送信を <input type="checkbox"/> 受信する <input type="checkbox"/> 受信しない 講師へのメールアドレス開示に <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない クレジットカードをご利用の場合は下記に✓を入れて下さい。 <input type="checkbox"/> クレジットカード利用 セミナーコード` 0365(Law-k250365)	会社名	TEL FAX		
	所在地	E-Mail		
	参加者ご氏名	〒		
	部課名			
	書類送付先	ご担当者	部課名	
(同上の場合記入不要)	TEL	FAX		

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。